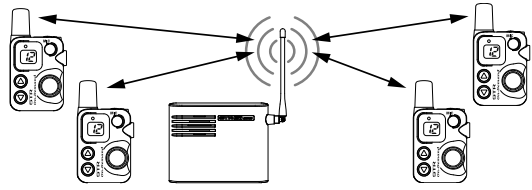


# 特定小電力中継器 EXR100A 取扱説明書

中継器 EXR100A を使用することで、通話エリアを約2倍に拡大することができます。多層階のビルや別棟との連絡、遮蔽物などで電波の届きにくいエリアの通話確保や通話品質の改善ができます。また、本体内部のスピーカーを拡声器として構内アナウンスに使用することができます。



## トランシーバーとの互換性に関して

EXR100A とあわせてお使いになるトランシーバーによっては、拡声器機能や CUE 機能など一部の機能が使えない場合があります。

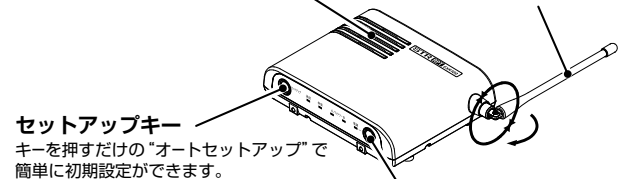
	オンデマンドインカム SRFD10	SRS210/A SRS220/A SR235	SR70A SR100A
中継通話	○	○	○
本機のスピーカーから音声を出力する構内アナウンス(拡声器)機能	○	×	×
中継機能を使いながら構内アナウンス機能を使う	○	○	×
全員に合図を送る CUE 機能	○	○	×
特定の相手とだけ通話するホットライン機能	○	×	×

注意：オンデマンドインカムで2チャンネルを使用する時は EXR100A が2台必要です。

## 各部の説明

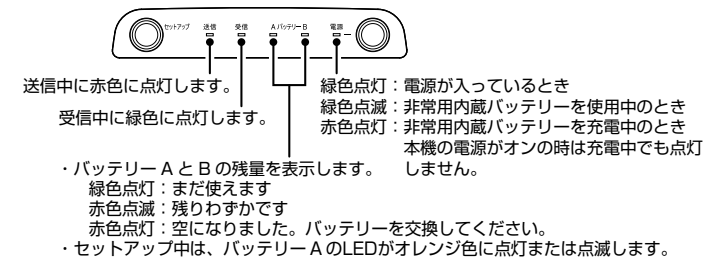
**スピーカー**  
中継している通話の音声、PA(アナウンス)機能の音声、ピープ音などを出力します。音が出ないようにすることもできます。

**アンテナ**  
設置場所にあわせて向きを変えることができます。向きを変えるときはアンテナの根元を持って、矢印の方向に動かしてください。



**セットアップキー**  
キーを押すだけの「オートセットアップ」で簡単に初期設定ができます。  
・短押し：グループコードを使用する場合  
・長押し：グループコードを使用しない場合  
通常は短押ししてグループコードを使用します。

**電源キー**  
長押しして電源をオン/オフします。



## 通話エリアを拡大する中継器として使う

SRFD10でオンデマンドインカムの全ての機能を使用する

### EXR100A を2台使用します

●準備をする  
EXR100A は、使用中継用チャンネルにあわせて子機の電波を受信するだけで、中継通話を行うための設定を自動で行えます(オートセットアップ機能)。

- SRFD10のセットモード「F2 通話モードの設定」を「rP」にします
- チャンネル表示が中継用のチャンネル(表示は10~18と12~29合計27チャンネル)に変わりますので、中継通話をする全てのSRFD10のA-chとB-chを運用するチャンネルにあわせて。A-chとB-chの間隔は5チャンネル以上離してください。

- SRFD10が「At」または「AL」モードの場合は、A-ch/B-chのどちらで送信するかを決めます  
A-chで送信する時：[CUE]キーと[▲]キーを同時に押す  
B-chで送信する時：[CUE]キーと[▼]キーを同時に押す
- EXR100Aの電源を入れます



- EXR100Aのセットモード「レピーターモード」を「半復信レピーター」に設定します  
設定はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。裏面の「Wi-Fiを使って各種機能を設定する」を参照してください。

- オートセットアップ機能でEXR100Aを設定します。



- SRFD10をA-chまたはB-chで[アクセス]キーを約4秒間押し続けます



続けてもう1台のEXR100Aの設定を行います  
上記⑦と同じ操作を別のチャンネル(A-chまたはB-ch)に設定したSRFD10を使って設定します  
以上で準備は完了です

この操作は初めの一度だけです。次回も同じチャンネルで通話を行う場合は、電源を入れるだけで通話を行えます。

- EXR100Aを設置する場所を決めます  
・子機の電波が届きやすい場所  
・障害物や遮蔽物がなく、なるべく高い場所  
・屋内または雨などで濡れない場所(EXR100Aは防水構造ではありません)
- EXR100Aを外部電源で使うか、バッテリーで使うかを決めます  
外部電源の供給が困難な場合や、イベントなどで一時的に使用する場合はオフションのリチウムイオンバッテリーで運用することができます。別紙「設置・取付説明書」をご覧ください。
- EXR100Aを設置します。別紙「設置・取付説明書」をご覧ください。  
・壁面に固定して設置する  
・マグネットを使って設置する

SRS210/A、SRS220/A、SR235、SR70A、SR100Aで使用する(SRFD10ではモード「A」または「B」の単信で使用します)

### EXR100A を1台使用します

●準備をする  
EXR100A は、使用中継用チャンネルにあわせて子機の電波を受信するだけで、中継通話を行うための設定を自動で行えます(オートセットアップ機能)。

- SRFD10のモードを「A」または「B」モードにします
- SRFD10のセットモード「F2 通話モードの設定」を「rP」にします  
SRFD10以外の子機の場合も中継器を使える設定にします。設定方法は子機の取扱説明書を参照してください。
- チャンネル表示が中継用のチャンネル(表示は10~18と12~29合計27チャンネル)に変わりますので、中継通話をする全ての子機を運用するチャンネルにあわせて
- EXR100Aの電源を入れます



- EXR100Aのセットモード「レピーターモード」を「半復信レピーター」に設定します  
設定はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。裏面の「Wi-Fiを使って各種機能を設定する」を参照してください。
- オートセットアップ機能で本機を設定します



- 子機の送信キーを約4秒間押し続けます



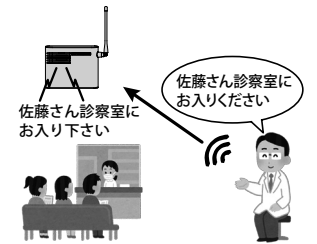
以上で準備は完了です

この操作は初めの一度だけです。次回も同じチャンネルで通話を行う場合は、電源を入れるだけで通話を行えます。

- EXR100Aを設置する場所を決めます  
・子機の電波が届きやすい場所  
・障害物や遮蔽物がなく、なるべく高い場所  
・屋内または雨などで濡れない場所(EXR100Aは防水構造ではありません)
- EXR100Aを外部電源で使うか、バッテリーで使うかを決めます  
外部電源の供給が困難な場合や、イベントなどで一時的に使用する場合はオフションのリチウムイオンバッテリーで運用することができます。別紙「設置・取付説明書」をご覧ください。
- EXR100Aを設置します。別紙「設置・取付説明書」をご覧ください。  
・壁面に固定して設置する  
・マグネットを使って設置する

## 構内アナウンス用(拡声器)として使う

EXR100A は中継器としては使用しないで、子機からの音声を本体のスピーカーから出力してお客様の呼出などのアナウンスとして使う、構内アナウンス専用として使うことができます



### ●設定方法

EXR100A は、構内アナウンスとして使用するチャンネルにあわせて子機の電波を受信するだけで、構内アナウンスを行うための設定を自動で行えます(オートセットアップ機能)。

- 本機の中継機能は使用しませんのでSRFD10の「F2 通話モードの設定」を「SP」にします  
設定方法はSRFD10の取扱説明書を参照してください

- SRFD10の「08 PA機能のON/OFF」を「on」に設定します  
設定方法はSRFD10の取扱説明書を参照してください

- SRFD10のチャンネルを構内アナウンスで使用するチャンネルに設定します  
-1~-9、01~-11の合計20チャンネルの中から選びます  
A-ch/B-chのどちらでも使用できます

- SRFD10の[▲]/[▼]/[アクセス]キーを同時に押し続けます  
「cL」が点滅表示したらキーを放します  
SRFD10の設定は以上です

- EXR100Aの電源を入れます

- EXR100Aのセットモード「レピーターモード」を「PA専用」に設定します  
設定はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。裏面の「Wi-Fiを使って各種機能を設定する」を参照してください。

- セットアップキーを短押しします

- SRFD10の[CUE]キーを短押しします

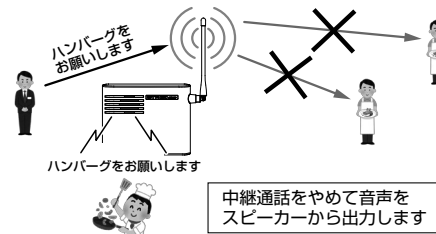
- AのLEDが消えたらSRFD10の[▲]/[▼]/[アクセス]のいずれかのキーを押します  
以上で準備は完了です

この操作は初めの一度だけです。次回も同じチャンネルでアナウンスを行う場合は、電源を入れるだけでアナウンスができます。

- スピーカーの音量は、EXR100Aのセットモード「PA音量」で「1」~「5」のいずれかの数字にします(工場出荷時は「3」です)。
- SRFD10の[CUE]キーを押しながら話します。  
アナウンスが終わったら[CUE]キーを放します。

## 中継機能を使いながら構内アナウンス機能を使う

通常は通話の中継のみを行い、必要な時だけ本機のスピーカーからアナウンスをすることができます。この時の音声は中継しません。



### ●設定方法

- 上記の「準備をする」と同じ操作を行い、EXR100Aと子機を準備します。

- SRFD10のセットモード「PA機能のON/OFF」を「on」にします。  
設定方法はSRFD10の取扱説明書を参照してください。
- SRS210/220シリーズやSR235の場合は「PA機能」を[CUE]または[ファンクション]キーに割り当てます。  
割り当て方法は、子機の取扱説明書を参照してください。

- 本機のセットモード「PA常時モニター音量」は「OFF」にします。  
パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の「セットモード」を参照してください。
- 本機のスピーカーでアナウンスする時は、SRFD10の場合は[CUE]キーを押しながら話します。SRS210/220シリーズやSR235の場合は「PA機能」を割り当てたキーを押しながら話します。(この音声は中継されません。)

- スピーカーの音量は、EXR100Aのセットモード「PA音量」で「1」~「5」のいずれかの数字にします(工場出荷時は「3」です)。
- アナウンスが終わったらキーを放します。

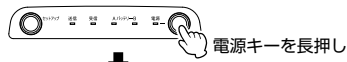
## Wi-Fi を使って各種機能を設定する

スマートフォンやパソコンのウェブブラウザの画面で、本機の各種機能をセットアップすることができます。本機に内蔵の Wi-Fi (無線 LAN) 機能を使いますので、インターネット接続環境は必要ありません。

**注意** 設定する時は EXR100A の電源をオンにしてから「10分」(初期値)以内に設定を完了してください。  
10分を超えるとセキュリティの為、自動的に Wi-Fi が切断されます。

### スマートフォン (iPhone) で設定する

一度電源をオフにしてから再び電源をオンする



スマートフォンの [設定] をタップします

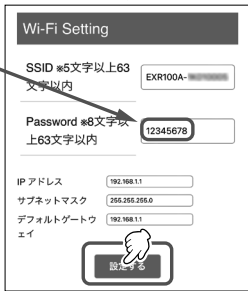
Wi-Fi をタップします



EXR100A-xxxxxxx をタップします (xxxxxxx は製造番号です)



パスワードを入力して [設定する] をタップします。  
パスワード: "12345678" (工場出荷時)



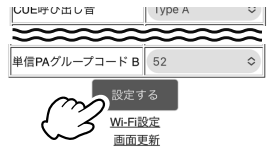
自動的にブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。

・自動的にブラウザが起動しない場合は、[設定] をタップした後の "Wi-Fi" 画面で [EXR100A-xxxxxxx] の右にある [i] をタップし、次の画面で自動ログインを "ON" にしてください。



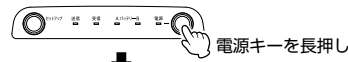
・自動ログインしない場合は、ご使用になるブラウザのアドレスバーに直接 [192.168.1.1] と入力すると、セットモード画面を表します。

画面をタップして設定を変更して、画面一番下の [設定する] をタップすると、本機に設定値が保存されます。



### スマートフォン (Android) で設定する

一度電源をオフにしてから再び電源をオンする

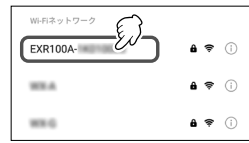


スマートフォンの [設定] をタップします

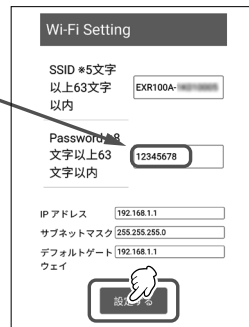
Wi-Fi をタップします



EXR100A-xxxxxxx をタップします (xxxxxxx は製造番号です)

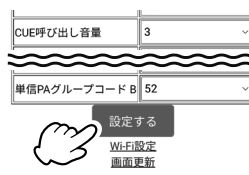


パスワードを入力して [設定する] をタップします。  
パスワード: "12345678" (工場出荷時)



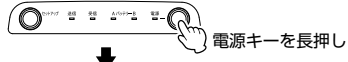
自動的にブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。

画面をタップして設定を変更して、画面一番下の [設定する] をタップすると、本機に設定値が保存されます。

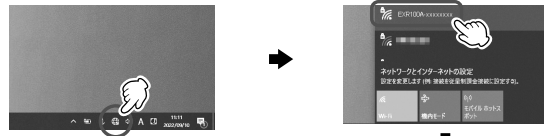


### パソコンで設定する

Wi-Fi (無線 LAN) 機能のあるパソコンが必要です。  
一度電源をオフにしてから再び電源をオンする



画面下の "Wi-Fi" アイコンを右クリックします。 EXR100A-xxxxxxx をクリックします (xxxxxxx は製造番号です)

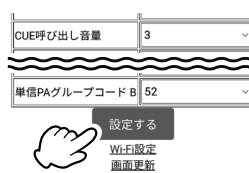


[自動的に接続] のチェックマークを外して、[接続] をクリックします。

パスワードを入力して [次へ] をタップします。  
パスワード: "12345678" (工場出荷時)

自動的にウェブブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。

画面をクリックして設定を変更して、画面一番下の [設定する] をクリックすると、本機に設定値が保存されます。



### セットモード一覧

項目名	設定値 (太字: 初期値)	設定内容
レピーターモード	半復信レピーター PA 専用	半復信レピーター 受信した音声を中継します。中継しながら音声をスピーカーから出力することもできます。 PA 専用 "PA 用 CH 設定 A" と "PA 用 CH 設定 B" で設定したチャンネルの音声をスピーカーから出力します。両方の音声を同時に出力することはできません。また、この時の音声は中継しません。
半復信 CH	10 ~ 18 / <b>12</b> ~ 29	中継チャンネル設定 ※オートセットアップでも設定できます。
半復信グループコード	OFF / 01 ~ <b>51</b> ~ 158	グループコード設定 ※オートセットアップでも設定できます。
PA 用 CH 設定 A	1 ~ 9 / 01 ~ <b>05</b> ~ 11	PA 用 CH (A) で受信するチャンネルを設定します。※オートセットアップでも設定できます。
PA グループコード A	OFF / 01 ~ <b>51</b> ~ 158	PA 用 CH (A) で使用するグループコードを設定します。※オートセットアップでも設定できます。
PA 用 CH 設定 B	1 ~ 9 / 01 ~ <b>10</b> ~ 11	PA 用 CH (B) で受信するチャンネルを設定します。※オートセットアップでも設定できます。
PA グループコード B	OFF / 01 ~ <b>52</b> ~ 158	PA 用 CH (B) で使用するグループコードを設定します。※オートセットアップでも設定できます。
秘話	OFF / 1 / 2 / 3	秘話モード設定 子機の秘話設定と同じ番号にあわせませす。
PA 常時モニター音量	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5	受信音量 (全ての通話) 中継している全ての通話音声をスピーカーから出力する時の音量を設定します。
ピープレベル	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5	ピープ音量 キー操作時のピープ音量を設定します。
スケルチ	1 / 2 / 3 / 4	スケルチレベル 数字が大きくなるほど弱い信号は中継しなくなります。
送信出力	<b>10mW</b> / 1mW	送信出力 1mW に設定すると連続送信時間の制限 (3分間で送信を自動的に中止する) がなくなります。1mW の設定は、中継チャンネルが 12 ~ 29 の場合のみ有効です。
ホールド時間	<b>0</b> (OFF) / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 (秒)	ホールド時間 子機の信号が弱くなり途切れても通話を維持する時間を設定します。
ファスト接続	OFF / ON	ファスト接続機能の ON/OFF 中継動作における接続時間を短縮できます。子機もファスト接続機能を ON にしてください。
エリア判定機能	OFF / ON	通話エリア判定機能 通話エリア内かどうかを子機の画面とピープ音で知らせます。
電池音	OFF / ON	内蔵バッテリー切替時の警告音送信 非常用の内蔵バッテリーに切り替わった時に、子機に警告音を送信します。
セーブ	OFF / ON	バッテリーセーブ機能 バッテリー運用時にバッテリーの消費を抑えます。
APO 時間	OFF / 1 / 2 / 4 / 8 (時間)	自動電源オフ機能 電源をオンしてから設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。
コンパンダ	OFF / ON	コンパンダ機能 受信音のサーというバックノイズを軽減します。子機もコンパンダ機能を ON にしてください。
LED	OFF / ON	LED インジケーター 電源以外の LED がすべて消灯します。
CUE	OFF / ON	CUE アラーム音の ON/OFF CUE 機能を使って子機から送信されたアラーム音をスピーカーから鳴らします。
CUE 呼出音	Type A / Type B / Type C	CUE アラーム音の種類を設定
CUE 呼出音量	1 / 2 / <b>3</b> / 4 / 5	CUE アラーム音の音量
PA 音量	OFF / 1 / 2 / <b>3</b> / 4 / 5	PA 機能動作時のスピーカー音量 PA 機能で音声をスピーカーから出力する時の音量を設定します。
Wi-Fi 起動時間	5 / <b>10</b> / 15 (分)	Wi-Fi でのセットモード設定が可能な時間 本機の電源がオンになってから、Wi-Fi によるセットモードが可能な時間を設定します。
非常電源起動時間	<b>10</b> / 20 / 30 / 40 / 50 / 60 (分) 連続	内蔵非常電池で運用できる時間 店舗の閉店後に電源がシャットダウンした後など、内蔵の非常電池で運用できる時間を設定します。なお、内蔵非常電池で運用中に CUE 信号を受信すると、設定した時間に関係なく内蔵非常電池が無くなるまで連続で運用します。

### 初期設定に戻す (オールリセット)

本機の全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。

1. 電源ボタンを長押しして電源をオフにします。
2. セットアップボタンを押しながら電源ボタンを長押しして電源をオンにします。以上でリセットは完了です。

## 通話エリア判定機能

本機にアクセスする子機に対し、定期的にエリア判定用の確認信号を送出します。子機側では中継エリア (通話エリア) 内にいるかどうかを、画面表示とピープ音で確認できます。

対応トランシーバー: SR235, SRS220/A, SRS210/A (2022年9月現在)

状況	電子音	画面表示
中継エリア内	中継エリア内になった時に "ビビッ" と鳴る	電子音が鳴った後 "圏内" が点灯する
中継エリア外	中継エリア外になった時に "プッッ" と鳴る	電子音が鳴った後 "圏内" が点滅する

**注意** グループコードが設定されている場合のみ動作します。

1. 本機のセットモードの "エリア判定機能" を "ON" に設定します。パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の "セットモード" を参照してください。
2. 子機の "コリルバック機能" を "ON" に設定します。設定方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
3. 以上で設定は完了です。

## 正しくご使用いただくために

- 当社純正品以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます。
- 本機の動作温度範囲は -20℃ ~ +50℃ です。

## アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合や点検・修理・製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

### 八重洲無線株式会社

- お買い上げいただいた日から3年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。非常用内蔵バッテリーは消耗品のため保証対象外です。化学的経年劣化なども保証対象外になります。
- 非常用内蔵バッテリーの交換 (有償) は、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお問い合わせください。

## 定格

送受信周波数 (12.5kHz ステップ)  
10ch ~ 18ch: 440.2625MHz ~ 440.3625MHz  
421.8125MHz ~ 421.9125MHz  
12ch ~ 29ch: 440.0250MHz ~ 440.2375MHz  
421.5750MHz ~ 421.7875MHz

電波型式: F2D, F3E  
通信方式: 半復信方式  
送信出力: 10mW 以下 / 1mW 以下  
受信感度: -14dBμV 以下 (@12dB SINAD)  
低周波出力: 最大 4W (@10.5V 外部電源使用時)  
最大 1.5W (@7.2V SBR-34LI 使用時)  
動作温度範囲: -20℃ ~ +50℃  
定格電圧: DC3.6V/DC7.2V/DC10.5V (動作範囲: 3.24V ~ 12V)  
本体寸法: 約 155 × 125 × 37mm (幅 × 高さ × 奥行、アンテナおよび突起部を含みます)  
本体重量: 約 440g

※この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。  
※ RoHS 指令準拠

### オンデマンドインカム以外の子機で使用する場合

SRS220/A, SRS210/A, SR235 はグループコードの表記が本機と異なりますので、下表を参考にグループコードを設定してください。

例: EXR100A が "51" のグループコードに設定してある時は、子機のグループコードを "D017" に設定します。

上記機種種のグループコード表示例

本機のコード	子機のコード	本機のコード	子機のコード	本機のコード	子機のコード	本機のコード	子機のコード	本機のコード	子機のコード
01	GP01	69	D114	92	D244	115	D364	138	D526
02	GP02	70	D115	93	D245	116	D365	139	D532
:	:	71	D116	94	D246	117	D371	140	D546
49	GP49	72	D122	95	D250	118	D411	141	D565
50	GP50	73	D125	96	D251	119	D412	142	D606
51	D017	74	D131	97	D252	120	D413	143	D612
52	D023	75	D132	98	D255	121	D423	144	D624
53	D025	76	D134	99	D261	122	D431	145	D627
54	D026	77	D143	100	D263	123	D432	146	D631
55	D031	78	D145	101	D265	124	D435	147	D632
56	D032	79	D152	102	D266	125	D445	148	D654
57	D036	80	D155	103	D271	126	D446	149	D662
58	D043	81	D156	104	D274	127	D452	150	D664
59	D047	82	D162	105	D306	128	D454	151	D703
60	D050	83	D165	106	D311	129	D455	152	D712
61	D051	84	D172	107	D315	130	D462	153	D723
62	D053	85	D174	108	D325	131	D464	154	D731
63	D054	86	D205	109	D331	132	D465	155	D732
64	D065	87	D212	110	D332	133	D466	156	D734
65	D071	88	D223	111	D343	134	D503	157	D743
66	D072	89	D225	112	D346	135	D506	158	D754
67	D073	90	D226	113	D351	136	D516		
68	D074	91	D243	114	D356	137	D523		